

2020年に向けた検討委員会の検討状況（中間報告）について

2020年に向けた検討委員会は、平成29年8月4日開催の第1回理事会において、下表に記載した検討項目について取り組むほか、必要に応じて中央区へ提言を行うこととして、その設置を了承いただきました。この間、3回にわたり会議を開催し、検討・議論を進めてまいりました結果を中間報告するものです。

2020年に向けた検討委員会 第1回から第3回会議における意見、質問、提言及び今後の方向性など（要旨）

区分 検討項目	検討項目のこれまでの取組状況	意見、質問、提言、回答など	今後の方向性	時期・会場
<b>観光情報センターの進化</b>				
・センターを中心とする各案内所との連携・情報共有	平成27年度の観光施策策定検討プロジェクトの提言を受け、G Info・ぶらっと築地・日本橋観光案内所と観光案内所連絡協議会を設置した。協議会には、このほか人形町商店街と東京中央大通会がオブザーバーとして参加し、情報共有を図っている。	・連絡協議会に他エリアからのオブザーバー参加もあり大きな進歩。 ・JNTO や TCVB などを招いて、全国や首都圏の観光客の傾向など、地域の勉強をしながら中央区の魅力に磨きをかける。	観光動向に関する勉強会は、今後開催に向け検討する。その際は近隣の案内所やオブザーバーにも声かけをする。 意見交換や研修などで得られた情報は、共有し、今後活かすよう心がける。	早期取組みの推進
G Info・ぶらっと築地・日本橋観光案内所	観光案内情報やリスク管理に関する情報の共有化などを図っている。また、相互に訪問をおこないスキルアップに努めている。	銀座、築地、日本橋以外の地域に同様な情報発信の場がないがどうか。	区が関与する案内所がない地域の皆さんの意見などを聴くため、今後の観光案内所連絡協議会にオブザーバー参加を呼びかける。なお、案内所の必要性については、各地域や区の判断。	平成30年2月開催予定の観光案内所連絡協議会にオブザーバー参加を促す。
その他観光案内機能を有する民間施設	①銀座地区内はG Infoが中心となり連絡協議会設け、情報共有を図っている。その会に、観光協会、センターもオブザーバー参加し、情報共有など連携を図っている。	①全地域が情報共有できる場が必要だと思う。 ②東京メトロ銀座駅は改修中で、新たに案内所を設ける。銀座通連合会は一緒に造ろうと提案し、検討したいと回答があり、現在進行中である。観光協会も参加を。	①全地域が一堂に会するのは難しい面もある。銀座地区のような会議体を、他の地域でも設け、観光協会、センターが参加する方式がよいのではないか。 ②まずは連合会で詰め必要があれば区や観光協会のサポートを。	①早期設置に向け検討
・事業内容の充実など	①2020オリジナル商品を、9月から販売している。 ②観光案内所を巡るスタンプラリー	①2020オリジナル商品を、案内所間のネットワークができたので売れる仕組みを考えてほしい。 ②区内案内所にオリジナルなスタンプを設置し、スタンプラリーを実施し認知度アップを図る。 ・観光案内所が認知されていない。スマホ等を活用して認知度アップを図る必要がある。	①当初は、民間の案内所への情報はなかったが、その後販売できることが確認され、観光案内所連絡協議会で、各案内所に情報提供した。 ②29年度末に案内所及びオブザーバーのエリアを巡るスタンプラリーを実施する。 ・観光情報センターの存在をさらに知ってもらうために、SNSの活用ほか、近隣ホテルへの売り込みの強化や対面に対応した外国人の方々にSNSで発信してもらえるよう取組を工夫する。	②実施時期：平成30年3月予定 場所：銀座・築地・日本橋・人形町・月島

<p>・案内板の設置</p>	<p>観光情報センターの案内看板は、中央通りと柳通りにテナント全部を掲載した看板（エドグラン管理組合が個別看板の設置を禁止している）と、東京メトロ京橋駅壁面のポスターのみである。</p>	<p>①ア 東京メトロに公共の看板として、明治屋にあるメトロの看板の下の部分にiマーク設置を協力依頼してはどうか。</p> <p>イ また、可動式看板を中央通りに出すのはどうか。</p> <p>②民間の案内所を含め案内表示がバラバラである。iマークを区で統一することはできないか。</p>	<p>①ア 明治屋が新たな看板の設置にOKならば可能だが、メトロの看板に同居することはできない。なお、明治屋には区から話すのが効果的と思う。</p> <p>①イ メトロリンク日本橋を運行する日の丸自動車が可動式看板を出している。そこへの追記は、協賛企業の下承を得る必要がある。そのため、具体的な案を日の丸自動車に提出することとする。</p> <p>②JNTOや東京都認定のマークと案内所ごとにデザインされたマークがある。区も独自認定を検討したが、一つの案内所にたくさんのiマークが存在することになり、混乱の恐れがある。その他、中央通り周辺への観光案内板とWi-Fiの設置は、場所が決まり今年度中に設置できる。</p>	<p>①イ 日の丸自動車に案が出来次第提出する。</p>
----------------	---	--	--	------------------------------

ボランティアの確保

<p>・外国人留学生、在住外国人の活用</p>	<p>①留学生は、三越伊勢丹日本橋本店の関係者を介して、神田外語大学にコンタクトしている。</p> <p>②在住外国人は、文化・国際交流振興協会のボランティアに登録されている方々に対して、働きかけしていく。</p> <p>③①・②のほか区内を安心・快適に観光・回遊できるよう「観光ボランティア」の制度化を進めている。</p>	<p>ボランティアの確保については、中央区観光協会特派員を中心に上手く確保ができている。今後はインバウンドを意識して外国人を対応できるボランティアを確保する。</p> <p>まち歩きを充実させ銀座や日本橋以外の地域まで広げ、SNSなどで発信してほしい。</p>	<p>①ボランティアの確保については、留学生（神田外語大学）とは具体的な話をする段階である。</p> <p>②文化・国際交流振興協会には、観光ボランティアになっていただけるようお願いすることとした。</p> <p>③12月1日から「ボランティア要綱」を施行。観光ボランティアを募集していく。</p> <p>・SNS等での情報発信について、中央区観光協会特派員ブログにて中央区全域における観光情報を中心に様々なジャンルで取り上げている。（一日4～5記事）</p>	<p>①平成29年11月29日に外語大と打合せ予定。</p> <p>②文化・国際交流振興協会については、応募いただけるよう12月中に案内を送付。</p>
<p>・通訳機器の活用</p>	<p>現在、決められた定型文を話すと外国語で発生する、拡声器型やスマートフォンアプリで、話しかけると外国語に翻訳してくれる音声翻訳など、さまざまな翻訳機器がある。</p>		<p>いまのところ、導入の予定はない。</p>	

文化プログラム

	<p>新たな文化プログラム案として</p> <p>「回遊型文化プログラム（5案）」街なかを老舗の旦那や学芸員、在住の方でガイド希望者が案内するツアー街なかの老舗や名店、飲食店や甘味店をめぐるスタンプラリーや日本橋かるたウォークラリー</p>	<p>第1回会議</p> <p>①各地域やボランティアの方が自主的に参加できるように、また、2020年以降も継続できるような案を出して欲しい。</p> <p>②財政的制約や実現可能性は一旦考えず、次回までに案を考えて欲しい。</p> <p>③晴海にビレッジセンター計画がある。その活用はどうか。</p>	<p>「ようこそ Tokyo Chuo City」</p> <p>選手村のある晴海には、船着場があることから、その地の利を活かし2020オリンピック期間中限定の選手向けの、舟運とまち歩きを組み合わせた観光コースを設定し「水の都中央区」をアピールする。</p>	<p>実施時期：オリンピック期間中 場 所：隅田川・日本橋川・お台場など東京湾 晴海の船着場から日本橋船着場や明石町防災船着場、浜離宮船着場。下船後は「まち歩きツアー」等を設定。</p>
--	--	---	---	---

<p>・全区民参加型の新たな文化イベント</p>	<p>選手村に近い船着場を活用して舟運と待ち歩きを組み合わせた観光など</p> <p>「拠点型文化プログラム（11案）」 隅田川テラスを活用した、盆踊りや納涼ナイトフェスティバル、また、日本文化を体験できる Japan カルチャー in 中央区、相撲荒汐部屋ミニ巡業、カルチャー鑑賞、さらに足湯など</p> <p>「応募型プログラム（3案）」 A 級食文化選手権、観光推奨名産品総選挙、観光文化絵画コンクール</p> <p>「広告宣伝型プログラム（1案）」 話題づくりダンス映像</p>	<p>④選手は出番が終われば街へ繰り出す。街の中心は中央区であり、文化も飲食も買物も。</p> <p>第2回会議</p> <p>①まち歩きや飲食、盆踊りなど無理なく取り組みそう。</p> <p>②「納涼ナイトフェスティバル」は選手も喜んで集まりそう。</p> <p>③ようこそ「Tokyo Chuo City」は観光ルートにして欲しい。外国人は喜ぶのでは。</p> <p>④相撲を銀座や日本橋で見られるのは面白い。</p> <p>⑤歌舞伎、芸者、能もある。カルチャー観賞をコースにする。</p> <p>⑥さまざまなコンテンツがある。それらを繋げてプログラム化する。つくり方によっては全区民が参加できる。</p> <p>⑦警備など安全面の確保が課題。開催の前後を含め、オリンピックに集中する。</p> <p>⑧中央区は買物の街となっており、「江戸」や「東京」などのコンセプトも必要。→例えば、歌舞伎座や松竹などの協力を得て、フォトスポットを設ける。</p> <p>⑨拠点会場は、移転後の築地か浜離宮がよい。都と交渉して欲しい。</p> <p>⑩海を利用した大きなイベントも。→東京湾にヨットを集めウェルカムイベント</p> <p>⑪観光協会以案をまとめ、区に提案する。都の協力はその後の判断。</p> <p>第3回会議</p> <p>①築地は選手用のバスだまりを予定。2000台分。観光バスの待機場所としての利用は不明。</p> <p>②プログラムの目標数は →目標は20万件。 beyond マークの指針を確認するには。 →インターネットに出ている。区のオリンピ</p>	<p>「納涼ナイトフェスティバル」 夏の夜を隅田川テラスなどで過ごす。都・江東区と連携して隅田川テラスの両岸で納涼屋台やイベントを長区間に渡り開催。ご当地自慢屋台を設置。また、同じ場所で「盆踊りでギネス世界記録に挑戦」も実施する。同じ振付けを「正確に」踊ることで世界記録に挑戦する。</p> <p>「カルチャー鑑賞（歌舞伎・芸者・能・落語・講談・相撲）」 拠点型イベントの一環として、歌舞伎・落語・講談・新橋芸者・芳町芸者・能・子ども歌舞伎など、文化的な一日興業を行う。若手を積極的に活用。</p> <p>「地域でのイベント」 日本・東京の食文化の中心である築地では、「食」を、日本橋では、江戸から続く老舗よる「和」を、また銀座では、「歌舞伎」や「能」など伝統芸能を発信するイベントを実施する。</p> <p>「フォトスポット巡り」 区内のランドマーク的なフォトスポットに撮影ポイントを設置し、誰でも簡単にベストショットが自由に撮影できるようにする。</p> <p>「日本のまつり・おどり編」 全国各地のまつりの踊りに注目し、その踊りを中央通において実施する。</p> <p>「フラッグ掲出協力」 訪日外国人の皆さんを歓迎するため、統一したフラッグを開催期間中区内全域に掲出し街なかが華やぐよう飾りつけて“おもてなし”をする。</p>	<p>実施時期：オリンピック期間中 場 所：隅田川テラス・浜離宮・浜町公園</p> <p>実施時期：オリンピック前・期間中・後 場 所：拠点会場</p> <p>実施時期：オリンピック前・期間中・後 場 所：それぞれの地域にある空き地や公開空地、道路、専門施設等</p> <p>実施時期：オリンピック前・期間中・後 場 所：歌舞伎座や銀座四丁目交差点、夜景スポット等</p> <p>実施時期：オリンピック前・期間中 場 所：中央通り（銀座8丁目から日本橋室町4丁目）</p> <p>実施時期：オリンピック前・期間中・後 場 所：掲出するための設備を備えている地域</p>
--------------------------	---	---	---	--

		<p>ック担当から情報提供する。</p> <p>③beyond を使いながら既存のイベントもできる。観光協会も登録を。</p> <p>④新たなイベントは 2020 年に向けスケジュールを立て、18、19 年に実施するなど計画化し早くやるべき。</p> <p>⑤スマートフォンで区内の観光情報が取得できるような仕掛けを構築すべき。</p> <p>⑥築地では、食に関するイベントを実施する。</p> <p>⑦この機会を活かし、小・中学生に外国を理解する取組を。 →一校一国運動を取り組んでいる。</p> <p>⑧選手村の正面玄関に案内所が欲しい。区にお願いしたい。</p> <p>⑨プログラムは年間通して地域でやれるようにする。</p> <p>⑩拠点となる会場を区に申し入れしている。</p> <p>⑪晴海通りの地下空間を自治体や観光協会などの団体が利用できるようにしたい。都が考えていると思うが。 →区でも検討したい。</p> <p>⑫地域の協力のもと日本の踊り 100 選</p> <p>⑬場所がなければつくる。中央通、歩行者天国。日本橋まで。</p> <p>⑭区内全域にフラッグを飾り、もてなすこともできる。</p> <p>⑮文化プログラムがしっかりと案内できるように、情報センターに集約する。</p>	<p><b>「東京湾 ヨットでの歓迎」</b> 晴海やお台場を中心とする東京湾にヨットを 100 隻程度集め、ウィルカムイベントを開催する。その際、花火も揚げ歓迎する。ヨットクラブの方々に参加を呼びかける。</p> <p><b>「晴海通り地下空間での情報発信」</b> 晴海通りの地下空間を利用して、各自治体や観光案内所などの団体の情報発信センターとする。</p>	<p>実施時期：オリンピック前・期間中・後 場 所：隅田川河口部、東京湾（晴海ふ頭、お台場）</p> <p>実施時期：オリンピック前・期間中 場 所：晴海通りの地下空間（銀座駅から東銀座駅間）</p>
--	--	--	--	--

留意・課題など

- 1 実施期日については、プログラムの中身によるが、オリンピック・パラリンピック開催期間中の交通混雑・警備などを考慮。
- 2 実施会場については、浜離宮や築地、中央通りや隅田川テラス、晴海通りの地下空間など考えられる。国・都にしっかり伝え、利用の可否を確認。自前で用意することも必要。
- 3 1、2 によりプログラムの実施が難しい場合でも、取り上げていただけるよう働きかける。
- 4 選手村の正面など、近い場所で情報発信するための場の確保。案内所の設置。
- 5 選手以外の一般訪日観光客への告知・誘導。
- 6 beyond マークは既存事業でも取得可能なので、地域や団体で申請を。新たな文化プログラムは 18、19 年度に実施できるよう計画化し、2020 に間に合うように取り組む。
- 7 訪日外国人などに中央区の文化プログラムをしっかりと伝えられるよう、観光情報センターに情報を集約する。

その他

**beyond2020 プログラム認証申請**

①日本文化の魅力を発信する事業・活動

伝統的な芸術、現代舞台芸術、ファッション、和食・日本酒その他の食文化、伝統工芸品、和装など、多様な日本文化。

②次世代に誇れるレガシー創出のため、次のいずれかの要素を付加した事業・活動

ア 障害者にとってのバリアを取り除く取組

イ 外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

③認証を申請できる団体

国の行政機関、地方公共団体、学校法人、公益法人又はこれに準ずる団体、株式会社等その他法人格を有する団体など。

パラリンピック

<p>・かかわり方 など (例：パラ選 手による講演 会の実施)</p>	<p>区商連と日本綱引き連盟及び観光協会の共催により実施したサマーフェスティバルの屋台村の一画にパラリンピックブースを設置し、車椅子バスケットボールと車椅子マラソンの車椅子やリオ・パラリンピックのパネルを展示した。また、「ポッチャ」の体験コーナーを設け、来場者が体験された。</p>			
--	---	--	--	--

その他

<p>・地域の課題 など</p>				
----------------------	--	--	--	--